



乗生小学校 5年生
令和5年10月13日
第21号

見て、聞いて、感じて たくさん学んだ社会見学！



10月6日（金）に社会見学で広島市に行ってきました。4・5年生はまず、株式会社マツダミュージアムに到着し、マツダ自動車の歴史や自動車ができるまでの過程、自動車を作られている方の思いや努力などについてのお話を聞かせていただきました。5年生では社会科で「自動車をつくる工業」の学習をしています。教科書の写真だけでは分からなかった作業のスピードや丁寧さを実際に見ることができ、これまでの学習と結び付けながら学びを重ねることができていました。

午後からは、広島平和記念公園と広島平和記念資料館へ行きました。まず、ボランティアの方に平和公園を案内していただきました。被爆者の方からお話を聞かせていただき、戦争がいかに悲惨なものかを感じずにはいられません。また、原爆資料館や原爆ドームで建物や写真を見ることで、どれだけ原爆がおそろしいものなのか思いをめぐらせました。平和記念資料館や平和公園に行くのが初めての児童も多く、子供達にとってとても貴重な学びになったようです。

お弁当おいしかったよ！



ロードスターに乗ったよ！



しっかりメモをとるよ！



被ばく者の方のお話を聞きました！



作ってくれて
ありがとう！



「行ってきます！」
私は、お母さんにそう伝えてワクワクした気持ちで社会見学に向かいました。私が社会見学で心に残っていることは、二つあります。
一つ目は、社会の教科書で見た自動車の組み立て工場を実際に見ることができたことです。授業で習ったことをさらに詳しく知ることができ、「もっと知りたい」という興味がありました。
二つ目は、資料館で見た被爆者の方の言葉です。被爆者の方の言葉一つ一つが私達に戦争の反対を訴えているように感じました。外国人の方も資料館の展示物を真剣に見られているのだなと思いました。広島の人々の思いが世界中に伝わってほしいです。
皆米 由乃

私は社会見学で多くのことを学びました。特に感じたのは、平和の大切さです。平和記念公園で原爆によって多くの人が亡くなったと聞き、改めて戦争は絶対にしてはいけないことだと感じました。これまでは、広島に原爆が落とされたことを分かっていても、どこか実感がありませんでした。けれど、資料館で炭化した弁当箱やぼろぼろの服などを見て、戦争はどこかの全く関係ない国の出来事でも、遠い昔にあったことでもないのだと気付きました。今、私が住んでいる広島で実際に起きたことで、今もどこかの国で起きていることなのだと思うと、これまで以上に戦争が恐ろしく感じました。この社会見学で学んだ大切なことをこれからも忘れないでたいです。
平井 小春

